

議会運営委員会行政視察概要

平成30年10月24日（水）

於 越前市議会 第1委員会室

午前10時 ～ 午前11時30分

1 調査の概要

…………… 越前市議会議会運営委員会川崎委員長、
越前市議会事務局 中村課長、清水主査

「議会活性化の取り組みについて」

市民と議会の語る会の実施、議会モニター制度について説明を受けた。語る会については、参加者の固定化により常任委員会単位に変更したが、参加者の減少をふまえ、本年度はもう一度全市民対象に戻ってみることになったとのこと。モニター制度については、語る会の参加者の減少、固定化を打開するための方策として提案された。モニターの意見を議会活動に反映している。

「タブレット端末の導入について」

平成25年度から議会活性化特別委員会及び議会運営委員会にて調査検討を行ったうえで、平成29年度からの導入を決定。運用規程等については、議会運営委員会の諮問機関として、議会ICT化検討委員会を設置し、検討した。当初は、議会のみでの導入予定であったが、予算査定の段階でペーパーレス化による業務効率の向上のため、執行部も同時に導入することを決定。議会は、12.9インチのiPad Pro、執行部側はWindowsタブレットを導入。文書閲覧システムは、両者とも同じでNECのスマートディスカッションというシステムを導入している。

議員の通信費について、年間の用務日数等を割り出し、公費50%、政務活動費25%、私費25%の割合で負担している。

2 主な質疑応答

問 語る会について、参加者の固定化に対する方策はあるか。

答 全市民対象の会から常任委員会単位に変更したが、議会モニターからの意見により、また全市民対象の会を行うことになった。

問 議会モニターからは、どのような意見が出てくるのか。

答 さまざまな意見が出される。一般質問で、同じことを何人もの議員が質問していることについての指摘等、厳しい意見もある。

問 タブレット端末導入により、ペーパーレス以外でのメリットはあるか。

答 ペーパーレス以外でも人的な手間を省くことによるコストカットがはかられている。差し替えの手間が減ったことは、かなり大きい。

問 Windows と iPad での違いはあるか。

答 執行部側では、Word、Excel、及び Docuworks の使用ができることを前提として、Windows タブレットを導入した。議会と同様の LTE モデルではなく、Wi-Fi ルーターを使って接続するため、つながりにくいという欠点がある。



問 目的外使用のチェックは行っているか。

答 100%公費負担にすると目的外使用の制約が大きくなり、議会活動の活性化のメリットが薄れてしまうため、公費と政務活動費、私費との按分による費用負担とし、インターネットの閲覧制限はかけていない。

問 文書閲覧システムについて、NECを選んだ決め手は何か。それ以外の候補もあったのか。

答 他の候補もあった。2画面表示ができること、近くに支社があり迅速な対応が期待できることの評価が高かった。

問 災害時の活用は、どのようにするのか。

答 今後の課題として検討中である。先進市の視察等を行っている。

以 上